

令和5年3月17日

## 文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和5年3月17日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに147件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,779件となる予定です。

### 1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登録件数	147	13,779
関係都道府県数	28	47
関係市町村(区)数	52	1,008

### ○時代別 (件)

	江戸以前	明治	大正	昭和			計
				前期 (S元～ S20)	中期 (S21～ S40)	後期 (S41～ S64)	
新規登録	30	49	27	27	9	5	147
累 計	2,462	4,352	2,794	3,543	579	49	13,779

### ○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	1	3	11	6	5	2	0	11	83	25	0	0	147
累 計	125	1,438	1,712	519	245	434	336	478	6,184	1,998	223	87	13,779

(件)

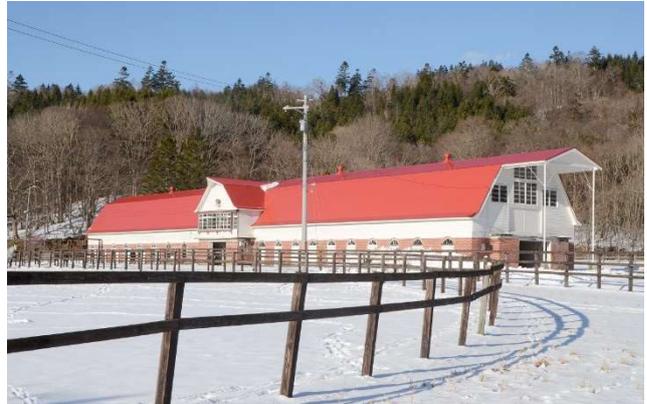
	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	121	5	21	147
累 計	10,949	669	2,161	13,779

今回の答申における主なもの

① 北海道の競走馬生産発展期の典型的な厩舎建築

001 レースホース牧場（旧大日本競走馬生産）本厩舎 北海道新ひだか町 昭和36年

日高地方の三石歌笛<sup>みついし</sup>に所在する競走馬牧場の、桁行70メートルに及ぶ長大な厩舎。腰折れ屋根で、二階は干し草置場、一階は馬房が並ぶ典型的な造りで、馬産地の歴史的景観を形成する。



提供：新ひだか町教育委員会

② 花巻城下にある宮沢賢治が生きた時代に建った西洋館

002 旧菊池家住宅西洋館 岩手県花巻市 大正15年

花巻城下の武家町御田屋小路<sup>おたやこうじ</sup>の洋風住宅。外観は半切妻の瓦屋根を切妻造ドーマーや軒先ブラケット等で飾る。中廊下沿いに並ぶ部屋は和洋折衷の独特な空間。宮沢賢治の世界を彷彿させる西洋館。



提供：花巻市教育委員会

③ 住宅作家として名高い建築家宮脇檀<sup>みやわきまゆみ</sup>の代表作

023 ブルーボックスハウス 東京都世田谷区 昭和46年

住宅作家として名高い建築家宮脇檀による「ボックス・シリーズ」代表作の一つ。国分寺崖線<sup>がいせん</sup>の地形を活かし、鉄筋コンクリート造と木造を組み合わせ、軽量化を図り、狭小地に光溢れる空間を実現した。



撮影：山崎鯛介

④ 現役花街の町並みに建つ芸子のお師匠さんの家  
031 瓢亭（旧花岡家住宅） 新潟県新潟市 昭和9年頃

新潟市の古町にある元芸子の住居兼稽古場。塀で囲った前栽と玄関を構えた二階建て町家。一階前座敷で小唄、二階奥座敷で清元の稽古をした。出格子を通りに見せる二階前座敷は客座敷。現在料理店として活用する。



⑤ 国道1号線の自動車交通を切り開いた大正期のボーストリング・トラス橋  
054 安倍川橋 静岡県静岡市 大正12年

国道1号線が自動車交通に対応するため、安倍川に建設した輸入鋼材による全長491メートルの橋梁。貴重な大正期のボーストリング・トラス橋で、東海道の近代化に大きな意義を持つ。



提供：静岡市

⑥ 大正時代から現役の祇園のお茶屋建築  
074~075 富美代主屋・大広間棟 京都府京都市 大正4年・昭和9年

祇園町北側にある茶屋建築。通りに出格子と簾を見せて京町家の典型的な表情とする。個々の座敷に採光と通風が確保されるよう、部屋と坪庭の配置が巧妙。大津壁の色合いが伝統的な祇園の風情を醸す。



⑦ ホトトギスで知られる景勝地の真言宗寺院にある江戸時代中期の本堂  
096～099 地蔵寺本堂他3件 大阪府河内長野市 享保6年（1721）等

県境の紀見峠に程近い真言宗寺院。本堂は宝形造、須弥壇前に天女板絵を吊すなど荘厳に特徴有る。鍾馗堂は鍾馗印の薬品会社が寄進したもので近代史を物語る。入母屋造り玄関を備えた庫裏と共に、ホトトギスで有名な落着きある境内を構成する。



⑧ 藩主御成に備えた設えの記録が残る庄屋の屋敷  
135～139 森家住宅主屋他4件 愛媛県西条市 天保12年（1841）等

石鎚山へ向かう街道沿いに広い式台玄関を構える、この地域随一の旧家の屋敷。文久4年（1864）に西条藩主が立ち寄り、通路の白砂から掛け軸に至る設えの記録が建物とともに残る。お殿様は東向きに座り、煙草盆を脇に置いたという。



⑨ 単アーチ橋から4連アーチ橋まで「ひふみよ橋」で親しまれる石造アーチ橋群  
145～147 寄口橋・大瀬橋・宮ヶ原橋 福岡県八女市 大正9年等

八女市街の北東を流れる星野川に架かる石造アーチ橋群。最上流に明治期の単アーチ橋（市指定文化財）を架け、下流に大正期の二連アーチ橋（寄口橋）、三連アーチ橋（大瀬橋）、四連アーチ橋（宮ヶ原橋：写真）が続く。「ひふみよ橋」として親しまれる意匠優れた石橋。



提供：八女市教育委員会

<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）  
課長 山下 信一郎  
課長補佐 田中 佳幹  
登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平、須藤 洋行（内線 2797）  
審議会係 森 幸一郎、内田 奈緒（内線 3160）

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
					産業1次	建築物	
1	レースホース牧場(旧大日本競走馬生産)本厩舎	北海道日高郡新ひだか町	S36	日高の競走馬生産牧場の厩舎。長大な腰折れ屋根で、屋根裏の飼料置場、1階に馬房を並べる厩舎の典型的な造りで、馬産地の歴史的景観を形成する。	産業1次	建築物	1
2	旧菊池家住宅西洋館	岩手県花巻市	T15	花巻城下武家町にある近代洋風住宅。装飾性高い外観と、量感に洋風天井と開戸を用いた和洋折衷の部屋が、独特な雰囲気醸し出す。	住宅	建築物	2
3	旧高善旅館(柳翁宿)	岩手県遠野市	M前期/M39・T5増築、S23改修、S60移築、H25改修	城下の中心地に所在した遠野屈指の旅館。吹抜常居(じょうい)や路地は地域色であり、二階の広い客室は旅館の格式を示し、石敷玄関と大階段は明治以来の老舗旅館の構えに相応しい。	産業3次	建築物	2
4	古勢起屋本館	山形県尾花沢市	T3/S7増築、R4改修	銀山温泉街にある木造三階建て温泉旅館。1階表通りに浴室を設ける当地旅館の典型で、玄関構えと二・三階の正面縁側が温泉街の風情を形成する。	産業3次	建築物	1
5	檜物屋酒造店旧店蔵(文庫蔵)	福島県二本松市	M7頃	二本松市街の奥州街道枡形(ますがた)に面する造り酒屋の土蔵。旧店蔵は厚な鉢巻や海鼠壁(なまこかべ)として、内部に摺上げ戸を残す。仕込蔵は長大で、街道側を寄棟造として掛子塗(かけごぬり)の窓枠を見せる。ともに奥州街道の歴史的景観を形成する。	産業2次	建築物	1
6	檜物屋酒造店仕込蔵		S5		産業2次	建築物	1
7	唐澤山神社本殿	栃木県佐野市	M41	国史跡唐沢山城跡に所在する明治初期格官幣社(かんべいしや)。本殿は本丸跡にある一間社流造。拝殿は入母屋(いりもや)造り平入りで、葺(しとみ)戸を多用して四方に縁を巡らす。中門祝詞屋及び透塀は菱格子と檜棧で飾り、本殿を囲む。いずれも木柄太く雄大さを備えつつ装飾は簡素。配置等を制限図式の影響が明らか、参拝門は神社創建時に門と拝殿を兼ねた建物で、柱に節が多く境内整備の苦勞が見て取れる。神楽殿は二の丸跡にある入母屋造りの建物で、奥に神棚を備え、板敷として三方は筋戸で祭礼空間となる。神橋は四ツ目堀に架かる鉄筋コンクリート造の単桁橋で、御影石の擬宝珠(ぎぼし)欄干(らんかん)など石橋風として歴史的景観を形成する。	宗教	建築物	2
8	唐澤山神社拜殿		M42		宗教	建築物	2
9	唐澤山神社中門祝詞屋及び透塀		M42		宗教	工作物	2
10	唐澤山神社参拝門		M16/M41頃移築		宗教	工作物	1
11	唐澤山神社神楽殿		T4		宗教	建築物	1
12	唐澤山神社神橋		T13		宗教	土木	1
13	濱田窯長屋門	栃木県芳賀郡益子町	M前期/S9移築	陶芸家濱田庄司がバーナーロード・リーチを迎えるにあたり、近隣農村から移築し、滞在室と共に同作陶室に改修した茅葺きの長屋門。室内空間には力強い梁組を見せる。	住宅	建築物	2
14	都築家花屋蔵	埼玉県越谷市	S前期/R2改修	日光街道越ヶ谷宿の味増醸造業を営んだ商家の土蔵風鉄筋コンクリート造の倉庫。窓に重厚な鉄扉を吊り、戸口の扉はダイヤル錠で堅牢な金庫風。	産業2次	建築物	2
15	高木家住宅離れ	東京都文京区	T14	都史跡駒込名主(なぬし)屋敷にある近代の和洋館。和館は菱格子や銘木を用いた近代和風の離れ。縦長窓を並べた洋館はピリヤード室に用いた。江戸期の名主屋敷にあり歴史的景観を形成する。	住宅	建築物	1
16	高木家住宅西洋館		S8		住宅	建築物	1
17	手煉せんべい嵯峨の家店舗	東京都台東区	M後期/S48頃改修	谷中寺町の通りに面した煎餅店。出桁(だしげた)造りの伝統的な町家を改修した看板建築で、土間ミセの奥は板敷の作業場で、煎餅焼きの窯を置く。二階では煎餅干しの作業をする。	産業3次	建築物	2
18	旧川嶋屋店舗兼住居	東京都台東区	M29頃/S中期改修	上野桜木にある米屋の店舗兼住居。出桁造りの長屋風町家で、1階中央に路地を通し、路地の西側は貸家で、二階は従業員部屋とした。路地の奥にある米倉庫は二階建て、二階は住居に改修して窓に露台を出す。寺町界隈の歴史的景観を形成して貴重。	住宅	建築物	1
19	旧川嶋屋米倉庫		M29頃/S中期改修		住宅	建築物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
20	旧品川警察署品川橋交通待機所	東京都品川区	S4/R4改修	品川橋南詰にある小さな交番で、木造鉄網コンクリート壁に目地を切って石造に見せる。隅切りした入口に欠円アーチを開けて、側面によげ下げ窓を並べる。関東大震災後に耐火構造で建てた戦前の交番として貴重。現在、観光案内所として活用。	官公庁舎 建築物	2
21	平田家住宅主屋	東京都世田谷区	S11	建築請負業を昭和2年に起業した経営者の住宅で、昭和10年開発の住宅地に自社で設計施工した。中廊下式平面で見本代わりに銘木を多用する。門と扉はタイル貼りを活かした意匠で、戦前住宅地の景観を形成する。	住宅 建築物	2
22	平田家住宅門及び扉		S12/S35改修		住宅 工作物	1
23	ブルーボックスハウス	東京都世田谷区	S46/S後期・R3改修	建築家宮脇檀(みやわきまゆみ)の代表的な住宅作品の一つ。閉鎖的な箱形構造体に巧みに光を導き、国分寺屋敷の狭小地に混雑造で明るい住環境を実現する。	住宅 建築物	2
24	總持寺仮真殿	神奈川県横浜市	M44	曹洞宗本山の伽藍西側に位置する仏堂と渡廊下。仮真殿は、能登か鶴見への本山移転に際して真牌を祀った開山堂。現在は正面側に信徒位牌堂、背面側に納骨堂を接続する。相の間は擬宝珠付き階段と同側に壁を介して廊下を設ける独特な造り。渡廊下は眞主書院の虎嘯窟と信徒位牌堂の放光堂を繋ぎ、途中の二間を二重虹梁葦股として屋根と床組みを切り上げる。	宗教 建築物	2
25	總持寺虎嘯窟渡廊下		M44項		宗教 建築物	2
26	河合家住宅(旧横浜市営外国人住宅)主屋	神奈川県横浜市	S4/同39項・H26改修	旧山手居留地南部丘陵に所在する洋風住宅。柱頭飾り付きの円柱を見せる玄関ポーチが特徴的。関東大震災後に横浜市が建築した外国人住居として貴重。	住宅 建築物	2
27	中嶋家住宅(旧ビゴット邸)主屋	神奈川県横浜市	T14/S55・H6改修	旧山手居留地に英国人ビゴット氏の夫人が建てた洋風住宅四棟の内の一棟。大きな切妻屋根と円柱付きの玄関ポーチが特徴的。関東大震災後の外国人住宅として貴重。	住宅 建築物	2
28	海老名市温故館(旧海老名村役場)	神奈川県海老名市	T7/S26項増築、同57改修、H22移築	相模国分寺跡に近接して建つ旧海老名村の役場庁舎。下見板張りに縦長窓を並べる洋風の外観として、装飾的な玄関ポーチを構える。	官公庁舎 建築物	1
29	旧広田医院主屋	神奈川県高座郡寒川町	T15/S4増築、S21改修、S30代増築	大山街道沿いの和風住宅と医院開業に際して建築した洋館と門及び扉。平屋建ての和館は田の字型間取りの伝統的な住宅。二階建て下見板張りの洋館は、1階が医院諸室、2階は10畳座敷に縁廊下を巡らす。重厚な門柱を構えて地域の医院の長く親しまれた景観を形成する。	文化福祉 建築物	1
30	旧広田医院門柱及び扉		S4/H30改修		文化福祉 工作物	1
31	瓢亭(旧花岡家住宅)	新潟県新潟市	S9項/R元改修	古町(ふるまち)にある芸妓(げいぎ)の師匠の住宅。前栽と玄関を構えた寄棟造りの二階建て。坪庭を囲う平面の、各座敷は小唄(こうた)や清元(きよもと)の稽古場と客座敷に使い分けた。花街(かがい)の風情ある歴史的町並みを形成し、現在料理店として活用。	住宅 建築物	1
32	齋藤家住宅離れ	新潟県新潟市	M中期/S42項改修	越後平野の農村に所在する旧家の離れと土蔵。離れは、庭園に面した開放的な造りで、用材に纏った座敷の平屋建て。土蔵は柱を密に立てる堅固な造りで、さらに座敷の小高い位置に建てて水害に備えた造り。当地の旧家の屋敷構えを形成する。	住宅 建築物	2
33	齋藤家住宅土蔵		M15/S56改修		住宅 建築物	1
34	旧頸城鉄道日本社(軽便鉄道資料館)	新潟県上越市	S17/H26改修	頸城平野の東西を結んだ軽便鉄道会社の社屋と機関庫。社屋は下見板張りの二階建てで、妻面軒持送りにセセッションを取り入れた意匠とする。機関庫は全長約40メートル。大空間をキングポスト・トラスの小屋根で実現し、南面に横長窓と高窓を連ねて採光する。軽便鉄道の歴史を地域に留める。	交通 建築物	1
35	野レーパルク車両展示資料館)		T3/S48・H18・R4改修		交通 建築物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
36	旧金岡家住宅道具蔵	富山県富山市	M13頃/T後期頃・S60 改修	富山城下近郊の新庄町に所在する葉種商の土蔵。中央に独立の棟持ち柱を立てて、舟肘木で地棟を支え、広大な収納空間に棚を並べる。	住宅	建築物 1
37	山田家住宅洋館	富山県南砺市	S4/S13・同39改修	砺波平野福野の中心部に所在する酒造業を営んだ旧家。洋館は当地出身で親戚の吉田鉄郎が設計。二階に洋間の画室と広縁付きの座敷を配した和洋折衷住宅。蔵は閉鎖的な蔵と窓を複数開けた納屋を、土蔵造で一体とした家財蔵。倉庫は土間に金を置き、酒造りの瓶詰め作業を行った。門及び扉は、腕木門とこれに連なる板扉で、旧家の屋敷構えを形成する。	住宅	建築物 2
38	山田家住宅蔵		M前期/T後期増築		住宅	建築物 1
39	山田家住宅倉庫（旧詩百篇酒造壘倉）		M中期/S39改修		住宅	建築物 1
40	山田家住宅門及び扉		S39頃		住宅	工作物 1
41	吉田家住宅主屋	富山県射水市	M5	二口（ふたくち）熊野新宮の参詣路に面する旧家。主屋はいわゆるアズマダナの特に大規模な例で、内部の高い吹き抜けが圧巻。石蔵は一階を石造、二階を井籠組とする珍しい構造の米蔵。高い基壇に建つ土蔵は、鉄扉を用いる近代的な道具蔵。板扉は敷地南側を囲む扉で、切り込み炬ぎや玉石積みの石垣に建ち、座敷庭の部分は舟板を張り、旧家の屋敷構えを形成する。	住宅	建築物 1
42	吉田家住宅石蔵		M5頃		住宅	建築物 3
43	吉田家住宅土蔵		T後期		住宅	建築物 2
44	吉田家住宅板扉		M5/S前期改修		住宅	工作物 1
45	櫻林家住宅奥座敷	山梨県甲府市	M45/S42増築	甲府城下南郊にある集落で江戸時代から医家を務めた旧家。二階建ての奥座敷は、各階三間続きの座敷で広大な近代和風建築。西文庫蔵は奥座敷に接続する家財蔵で、モルタル塗り仕上げで腰を人造石研ぎ出しとする重厚な土蔵。東文庫蔵も奥座敷に接続する家財蔵で、江戸時代に遡る土蔵。米蔵及び道具蔵は、東半は二階建ての物置、西半は吹き抜けの米蔵とする実用的な土蔵。長屋門は、東半は車夫の居室、西半は診療所に用いた三室から成り、門口にケヤキの一枚板を扉に吊りて医家の風格ある屋敷構えを形成する。	住宅	建築物 2
46	櫻林家住宅西文庫蔵		M45頃		住宅	建築物 1
47	櫻林家住宅東文庫蔵		E末期/S42頃増築		住宅	建築物 1
48	櫻林家住宅米蔵及び道具蔵		M後期		住宅	建築物 1
49	櫻林家住宅長屋門		M38/H14改修		住宅	建築物 1
50	旧ロミッシー別荘（一柳家別邸）	長野県北佐久郡軽井沢町	T12/R2移築	万平（まんべい）通りの別荘地に建つ木造二階建てで、各室の独立性高い間取りが特徴的。正面に玄関と二階アラスを張り出し、菱組天井などコロニアル要素も示す洋風別荘。	住宅	建築物 2
51	軽井沢新スタジオ（アントニン・レーモンド軽井沢別邸）主屋	長野県北佐久郡軽井沢町	S36	軽井沢の南方に建つアントニン・レーモンド晩年の別荘兼事務所。12角形平面のスタジオは暖炉を中心に唐傘形に丸太の梁組を架ける。レーモンド円熟期の作風を示す。	産業3次	建築物 2
52	岡本家住宅茶室	岐阜県岐阜市	T2頃/R2改修	岐阜城下で鋳物業を営んだ旧家の茶室と待合。茶室は二畳台目中板入り。待合は、下地窓を開けた腰掛け待合と、落棟の雪隠から成り、落ち着いた露地を構成する。扁額の作成に松尾流九代宗匠が関わる。	住宅	建築物 2
53	岡本家住宅待合		T2頃		住宅	工作物 1
54	安倍川橋	静岡県静岡市	T12/S43・H2改修	安倍川下流に架かる旧国道1号の道路橋。橋長491メートル、ボーストリング・トラス橋として我が国最長を誇る。球形をあしらった橋名額が特徴的。	交通	土木 1
55	海瀬家住宅主屋	静岡県沼津市	E末期/S4頃改修	伊豆半島北西の山間集落に建つ旧家の主屋。元は茅葺きの寄棟造りで、土間と六間取りの床上部で構成。正面側三間続きの座敷では神楽奉納の行事が行われる。	住宅	建築物 1
56	旧津倉家住宅主屋	静岡県磐田市	M22	掛塚（かづつか）湊の廻船問屋と材木商で繁栄した旧家。主屋は、寄棟造り妻入りで、通りに格子を見せる。庭に角屋で張り出す座敷は、壁の一枚板が見所。通り沿いに主屋と並ぶ	住宅	建築物 1
57	旧津倉家住宅応接棟		S10	応接棟は、大理石風の列柱をアラスに並べ、内部にマントルピースを置く。土蔵は伊豆石貼りの二階建てで、地棟に船材を転用する。水運業の繁栄の歴史を伝える。	住宅	建築物 1
58	旧津倉家住宅土蔵		M22頃/S20頃改修		住宅	建築物 1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
59	川端家修善寺別邸主屋	静岡県伊豆市	S17	修善寺にある日本画家川端龍子(りゅうし)の別邸。主屋は大判ガラス引き分け戸の開放的な広間に、梅の枝に見立てた絵画的な欄間を収める。龍子の嗜好を贅染した独創的な近代和風建築。門は人字形割束や吹寄せ垂木とした自由で意欲的なデザインとし、道沿いの屋敷構えを整える。	住宅	2
60	川端家修善寺別邸門		S17頃/R3改修		住宅	1
61	旧常滑市立陶芸研究所(とこなめ陶の森陶芸研究所)本館	愛知県常滑市	S36	建築家堀口捨己(すてみ)が設計した研究所。鉄筋コンクリート造紫色タイル貼りの本館は、バルコニーや庇を深く張り出し水平性を強調し、トップライトから展示室に光を導く。各所に金や赤を配色し、設計者の個性が光る。正門も堀口がデザインしたもので、鉄格子と板打ち抜きの文字から成るスライド門扉。	文化福祉	2
62	旧常滑市立陶芸研究所(とこなめ陶の森陶芸研究所)正門		S36		文化福祉	2
63	澄野家住宅主屋	三重県多気郡明和町	T5/S40頃・R元改修	伊勢街道に面する薬屋を営んだ商家で、つし二階建て切妻造り平入りの町家。正面に格子と霧除を付し、内部は通り土間と整形四間取りの平面とする。街道の歴史的景観を形成する。	住宅	1
64	乾家住宅門及び塀	三重県多気郡明和町	E後期/S中期改修	伊勢街道沿いに建つ旧家の門と塀。切妻造り本瓦葺きの薬医門。塀は棧瓦葺きの真壁造り黒漆喰仕上げで、腰を下見板張とする。街道の歴史的景観を形成する。	住宅	1
65	旧加藤家住宅主屋	三重県度会郡南伊勢町	M前期/S50頃改修	神前浦(かみさきうら)の集落海帯りに建つ大庄屋を務めた旧家の主屋と土蔵。主屋は、切妻造り平入り本瓦葺きで、背面と土間側に下屋を付し、狭い土間と田の字型間取りとする志摩地方の典型的な漁村民家。土蔵は、主屋の背面側にある家財蔵で、土蔵造りで元は杉皮張りとした閉鎖的な造りで敷地外郭を形成する。	住宅	2
66	旧加藤家住宅土蔵		M前期		住宅	1
67	旧吉津郵便局舎	三重県度会郡南伊勢町	S前期/S50頃改修	神前浦の旧家の敷地に建つ郵便局舎。辻角を隅切りして局舎を掲げて重葺せ風の出入口とする。モルタル掻き落しの外壁に縦長窓を並べ、腰石貼りにポストを埋め込み、漁村の歴史的景観に賑わいを与える。	官公庁舎	1
68	明栄寺本堂	滋賀県長浜市	安永間(1772-1781)	木之本宿の中心に位置する真宗寺院の本堂。本堂は、大きな入母屋造り棧瓦葺きで、装飾的で広大な内部空間とする。本堂の北西に南面して建つ庫裏は、高い吹き抜けの土間と、広大な三間続きの座敷を有する。本堂の南西に建つ太鼓楼は、入母屋造り棧瓦葺きで、灯笼と格子を構えて袴腰形板張りとする。経蔵は宝形造り棧瓦葺きで切妻造りの向拝を付し、内部は貼り付け紙の天井に飛天を描く。鐘楼は入母屋造り棧瓦葺きで内転びの円柱とし、軒と天井廻りが装飾的。本堂と北国街道の間に建つ山門は四脚門で、木鼻の彫刻が華やか。宿場町並みの歴史的景観の要となる伽藍。	宗教	1
69	明栄寺庫裏		安永間(1772-1781)		宗教	1
70	明栄寺太鼓楼		文化4(1807)		宗教	1
71	明栄寺経蔵		M32		宗教	2
72	明栄寺鐘楼		天保8(1837)		宗教	2
73	明栄寺山門		文化4(1807)		宗教	1
74	富美代主屋	京都府京都市	T4/S50頃改修	祇園北側の通りに面して建つ茶屋。主屋は伝統的な外観に、内部は坪庭廻りに中小の座敷を巧みに配した近代らしい茶屋建築。主屋の奥に建つ大広間棟は、二階を二間続きの大広間として大宴会が可能で、宴会の時代相をよく示す。	産業3次	2
75	富美代大広間棟		S9/S中期増築		産業3次	2
76	廣瀬家住宅主屋	京都府亀岡市	天保14(1843)頃/M9頃・H8改修	亀岡盆地東縁の農村にある旧家の主屋。入母屋造り平入りの棧瓦葺きで、四方に下屋を巡らす。重厚な梁組の土間と六間取りで、座敷は珍しい形式の床構えとする近世民家。	住宅	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
77	今尾家住宅茶室薫風亭	京都府長岡京市	T後期/H24改修 S前期/S44改修	長岡天満宮の八条ヶ池を望む日本画家今尾景年(いまおけいねん)の茶室と土蔵。茶室薫風亭は二階建てで、円窓や角窓の平書院を配した広間と、各階に茶室を設け、縁や窓を巡らす。土蔵は作品を収納したもので、窓小さく閉鎖的で重厚な外観。	住宅	2
78	今尾家住宅土蔵				住宅	1
79	川田家住宅主屋	大阪府大阪市	E後期/S3頃・同27頃・ 同60頃改修	旧深江村の集落北辺に位置する旧家の主屋と離れ。主屋は茅葺き鉄板葺きで、土間と食遣い四間取り平面から成り、式台玄関を備える。近世の標準的な民家として貴重。離れは主屋の上手にある客間棟で、床構え付きの座敷とする。近世から明治に至る家柄と住居の発展を示して貴重。	住宅	2
80	川田家住宅離れ		M前期/S33・同37改修		住宅	1
81	真行寺本堂	大阪府大阪市	天保3(1832)/S33・ H16頃改修	旧深江村の集落北寄りにある真宗寺院の本堂。入母屋造り平入り本瓦葺きで正面に向拝を付す。内部は内外陣境を彫刻欄間で荘厳し、内陣を一段高くして、後門を開く。集落の歴史的景観の要となる。	宗教	1
82	法明寺本堂	大阪府大阪市	元禄7(1694)/T元・ S38改修	旧深江村の集落西寄りにある浄土宗寺院。本堂は元は鍛屋根で、残存する軒廻りの反りは伸びやか、内陣は平面凸型で一段高く、太い円柱を立てる。庫裏は入母屋造りで式台玄関を構え、内部は広い土間と九間取り座敷とする。竹の節欄間を備えるなど古風な面を見せる。鐘楼は木柄太く、絵様縄形彫り、建築年代明らかで貴重。薬医門は奈良街道から引き込んだ参道と本堂の正面に建つ表門で、小規模ながら入母屋造りで絵様線形(えようくりがた)整った建築年代明らか。集落と街道の歴史的景観を形成する。	宗教	2
83	法明寺庫裏		寛政9(1797)/S中 期・同61改修		宗教	1
84	法明寺鐘楼		正徳3(1713)/T元・ H26改修		宗教	2
85	法明寺薬医門		寛政7(1795)/T元・ H14改修		宗教	1
86	鍵屋別棟	大阪府枚方市	S3/S8頃増築、H13改修	枚方宿に所在する料理旅館の近代和風別棟。二階大広間は折上格天井の63畳間で、キンクポスト・トラスの小屋根で実現する。縁高欄越しに淀川を望む。	産業3次	1
87	八木家住宅主屋	大阪府豊屋川市	S5/S34頃・同58改修	香里園の住宅地に建つ藤井厚二設計の二階建て住宅。主屋は、幾何学的な構成や椅子式の生活様式に合わせて再構成した和風意匠と、藤井の環境共生住宅の特徴をよく示す。下男部屋は馬丁(ばてい)が寝泊まりした住居で、真壁造り堅板張りとし、屋敷外郭を形成する。蔵は、戦争に備えて土蔵造りとした建物で、時代相を伝える。門及び扉は敷地正面側の道路沿いに建ち、門扉は樋戸で下半を堅格子として籍やかに内外を仕切る。藤井の大型の住宅作品として、付属建物と共に往時の住宅地の景観を留めて貴重。	住宅	2
88	八木家住宅下男部屋		S5/S16・H8改修		住宅	1
89	八木家住宅土蔵		S5/S16改修		住宅	1
90	八木家住宅門及び塀		S5/H28改修		住宅	1
91	旧中村家住宅主屋	大阪府河内長野市	E後期/M30代移築、S47 改修	景観の紀見峠に程近い谷あい農村の旧家。主屋は茅葺き鉄板葺きの大和棟民家。広い土間と整形四間取りから成り、突き止め溝等、河内地方の古式が残る民家。西座敷は、主屋の上手に接続する座敷棟で、用材に纏った造りで山林業を営んだ歴史を伝える。書斎及び渡廊下は、内部は近代和風で、外観は屋敷外郭を形成して重要。土蔵は主屋の背面側に位置し、棟木に「大相撲四方柱」と墨書があり、地鎮や上棟に関する貴重な事例。門長屋は、入母屋造り棧瓦葺きで、扉口西側は床構え付座敷とし、表に出格子窓を構えて開放的で近代的。主屋は古い近世民家として貴重で、付属建物と共に長い歴史を留めて農村景観を形成する。	住宅	2
92	旧中村家住宅西座敷		M30代/S40代改修		住宅	1
93	旧中村家住宅書斎及び渡廊下		M30代/S50代改修		住宅	1
94	旧中村家住宅土蔵		M30/S後期改修		住宅	2
95	旧中村家住宅門長屋		M32/S前期改修		住宅	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
96	地藏寺本堂	大阪府河内長野市	享保6 (1721) / S3改修	ホトギスの名区として知られる府名勝の眞言宗寺院。本堂は、元茅葺の宝形造り椀瓦葺きで、須弥壇前に天女の板絵を吊し、雲形の板も伝わり荘厳に特徴ある。鍾道堂は入母屋造り妻入りの仏堂で、鍾道印の藤澤友吉商店が寄進したもの。庫裏は参道に面する切妻造り平入り椀瓦葺きの建物で、元土間の台所と六間取り座敷から成り、入母屋造り式台玄関を構える。山門は石段を登った先にある薬医門で、端正な造り。落ち着きある歴史的景観の伽藍を構成する。	宗教	2
97	地藏寺鍾道堂		S10		宗教	1
98	地藏寺庫裏		S13 / 同50代改修		宗教	1
99	地藏寺山門		M35 / R2改修		宗教	1
100	無沓庵	兵庫県神戸市	S44	御影の住宅地に所在する芸術家綿貫宏介(わたぬきひろすけ)の茶室。宝形造りで内部は奉天井とし、囲炉裏を切り、置き床とする。鎌倉時代の山家(やまが)に着想したとされる野趣溢れる自在な造り。	住宅	2
101	橋乃家本館	兵庫県神戸市	T後期	有馬温泉街入口のかつての太古橋の袂(たもと)に所在する木造三階建て旅館。入母屋造りで、二・三階は川沿いを眺める高欄付きの入側を巡らし、温泉街の歴史的景観を形成する。	産業3次	1
102	徳壽院本堂	兵庫県姫路市	E中期 / M33移築	宝津街道の魚吹(うすき)八幡神社に隣接する眞言宗寺院。本堂は宝形造り本瓦葺きで、二軒屋垂木とした小規模ながら軒廻り等充実した造り。薬師堂は本堂西隣に建つ入母屋造り平入り本瓦葺きの簡素な仏堂で、軒を出桁造一軒疎垂木(まはらだるまき)とする珍しい造り。	宗教	2
103	徳壽院薬師堂		E中期 / T4移築		宗教	2
104	内藤家住宅主屋	奈良県奈良市	M前期 / M後期・S40頃改修	奈良盆地のかつての環濠集落にある旧家。主屋は、北向きの切妻造り平入り椀瓦葺きで、入母屋造り落棟の土間部分と二列六間取りの床 上から成り、床構え付きの座敷は離れに配す。木太い良材を用いた造り。長屋門及び塀は、窓が少なく閉鎖的で、まぐさを漆喰塗込めとする特徴的な意匠とする。中門は座敷庭を区画する切妻造り本瓦葺きの廊下門。中庭北塀は屋敷北辺に建つ椀瓦葺きで水踏石積み護岸に建ち、座敷庭面は真壁造り漆喰仕上りとする。環濠集落の外郭にあり歴史的景観を留める旧家の屋敷。	住宅	1
105	内藤家住宅長屋門及び塀		M前期 / S40代改修		住宅	1
106	内藤家住宅中門		S前期		住宅	1
107	内藤家住宅中庭北塀		M43頃		住宅	1
108	井上家住宅(旧岩田家住宅)主屋	和歌山県紀の川市	T5頃 / S後期改修	紀の川北岸の段丘にある旧家。主屋は入母屋造り平入り椀瓦葺きの二階建てで、整形四間取りの西に、床構えが特徴的な角屋(つのや)座敷を設ける。全体に落ち着きある意匠の近代和風で、農村の歴史的景観を形成する。土蔵は敷地北西隅に建ち、戸口に鳥居杵を飾り、小屋組は妻面の柱で棟木と母屋を支える特徴的な造り。長屋門は敷地南辺にあり、舟底天井の和室を設ける近代和風。土塀は敷地を半周し、縁泥片岩の小石を隙間なく貼り付け、独特な仕上げとする。紀の川沿いの歴史的農村景観を形成する。	住宅	1
109	井上家住宅(旧岩田家住宅)土蔵		E末期 / T前期増築、H7改修		住宅	1
110	井上家住宅(旧岩田家住宅)長屋門		S45		住宅	1
111	井上家住宅(旧岩田家住宅)土塀		T前期		住宅	1
112	旧制粉河高等女学校同窓会館(粉河高等学校同窓会館)洋館	和歌山県紀の川市	S9 / S38・同60・R4改修	粉河の市街地東の高台にある旧制高等女学校の同窓会館及び家庭実習寮。三角屋根の洋館はスペイン瓦葺きの木造二階建てで、二階は15畳二間続きの六畳間とする。日壁に縦長窓を並べ、スパニッシュを基調とする外観が特徴的。和館は宝形造りで和風を基調とする平屋建て。欄間を多用する明るい続き間座敷、玄関脇に洋風応接間を配する。かつては宿泊実習を行う等、現在も同窓生に親しまれる。	学校	1
113	旧制粉河高等女学校同窓会館(粉河高等学校同窓会館)和館		S9 / S60・R4改修		学校	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
114	阿瀬家住宅主屋	和歌山県有田郡湯浅町	E末期/M後期増築、S40頃改修	湯浅の中町通にある漁網製造を営んだ商家。主屋は、切妻造り平入り本瓦葺きのつし二階建て町家で、通り沿いに座敷を増築して、一体で出格子や虫籠(むしこ)窓を備える。道具蔵と米蔵は敷地背面側に建ち並び、一体で屋根を架ける。米蔵には穀物入れを備える。醬油と並ぶ湯浅の特産であった製網業と歴史的町並み景観を伝える。	住宅 建築物	1
115	阿瀬家住宅道具蔵		E末期		住宅	1
116	阿瀬家住宅米蔵		E末期		住宅	1
117	林原美術館本館	岡山県岡山市	S38/S61増築	岡山城二の丸跡に建つ美術館。鉄筋コンクリート造の本館は前川國男設計で、中庭を中心に単位空間を連続した平面計画とし、外壁の焼き過ぎ煉瓦とプレキャストコンクリート板は後の作品に通じる意匠と技術。東蔵、中蔵、西蔵は旧生坂(いささか)藩向邸から移築した大型土蔵で、木柄太く、海鼠壁が白壁に映える藩蔵。長屋門も旧生坂藩向邸から移築したもので、規模大きく閉鎖的で藩邸の屋敷構えを今に伝える。	文化福祉 建築物	2
118	林原美術館東蔵		M前期/M42頃移築		文化福祉 建築物	1
119	林原美術館中蔵		M前期/M26頃・同42頃移築		文化福祉 建築物	1
120	林原美術館西蔵		M14/M42頃移築		文化福祉 建築物	1
121	林原美術館長屋門		E末期/M後期移築、S42改修		文化福祉 建築物	1
122	井原市民会館本館	岡山県井原市	S46/H18改修	井原市中心部に建つ鉄筋コンクリート造の市民会館。内外をコンクリート打放しで多様な仕上げとし、バルコニーと軒による水平ラインに、交差する高い時計塔を屹立させる。別館は機械室と元は青年婦人講習室とした建物で、換気塔が垂直性のアクセントとなっている。	官公庁舎 建築物	2
123	井原市民会館別館		S46		官公庁舎 建築物	2
124	旧村井醫院診療棟	広島県尾道市	T7/S中期・H24改修	山陽道と出雲街道が交わる御調(みつぎ)の町門にある洋風の医院建築。診療棟は、寄棟造り棧瓦葺きで、外壁は下見板張と定規柱風にモルタル塗り仕上げとする。ペディメント付きの上げ下げ窓と石柱の門が街道沿いの歴史的景観を形成する。	文化福祉 建築物	1
125	旧村井醫院門柱		T7頃/S中期改修		文化福祉 工作物	1
126	旧宮地醬油店離れ(林芙美子旧居)	広島県尾道市	M中期/S51頃改修	尾道駅に程近い商店街にある醬油店の付属建物。短冊形敷地背面側に建ち、離れや醬油蔵、一時貸家とした。当地では東風を避けて二階東面は壁として妻側に窓を設けるが、その特徴を持つ。大正6年頃には小説家林芙美子が入居しており、現在、資料館として活用。	住宅 建築物	2
127	旧四国銀行辻支店店舗	徳島県三好市	S34/S後期改修	辻町の中心部にある鉄筋コンクリート造の銀行建築。店舗はモルタル洗い出しに目地を切って石張り風仕上げとし、玄関の柱形が正面性を高める。内部は元は吹き抜けでキャットウォークを巡らす。店舗の背面側には自動二輪車庫が付属し、在時の銀行と町並みの歴史的景観を伝える。	産業3次 建築物	2
128	旧四国銀行辻支店車庫		S34		産業3次 建築物	1
129	旧熊谷家住宅主屋	徳島県三好市	M3/M13増築、H15改修	辻町の中心部にある乾物商の町家。主屋は、当初は切妻造り平入り棧瓦葺きで、まもなく入母屋造り妻入りの三階を増築したもの。三階座敷は座敷飾りや襦袢の意匠を凝らした上質な造り。倉庫は、主屋の背面側にある切妻造り棧瓦葺きの二階建てで、乾物用の倉庫。二階は和室に改修している。歴史的町並みの在時の賑わいを伝える。	住宅 建築物	1
130	旧熊谷家住宅倉庫		S38/S48改修		住宅 建築物	1

名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	基準
131 旧南原家住宅主屋	香川県高松市	T元/R4改修	高松市西端の龜水湾(たるみわん)で製塩業を営んだ旧家。主屋は起り付きの寄棟造り平入り本瓦葺きで、出し桁の軒裏と二階壁を黒漆で塗り込む引き締まった外観のつし二階建て。内部は広大な六間取りで床構え付きの座敷や上段の仏間を設ける。南蔵は敷地正面に建つ土蔵。元は米蔵として用い、柱間に荷摺木を打つ。南東蔵は敷地南東隅に建つ土蔵で、三室に区切り、唐臼を置くなど作業場的な建物。長屋門は南蔵と南東蔵の間に建ち、真壁造りで門口、滑り戸、袖塀通門と使い分けを繰り返す。上質な主屋を中心に歴史的景観を留める屋敷。現在、飲食店及びイベントスペースとして活用。	住宅	2
132 旧南原家住宅南蔵		M元/R4改修		住宅	1
133 旧南原家住宅南東蔵		M5/H14改修		住宅	1
134 旧南原家住宅長屋門		M5		住宅	1
135 森家住宅主屋	愛媛県西条市	天保12 (1841)	石鏡山(いしづちさん)への街道沿いにある旧家。主屋は切妻造り平入り棧瓦葺きの二階建て二棟を、各棟で繋いで並置する。表棟には式台や床構え付きの玄関を構え、上手に角屋座敷を設けて上段の間とする格式ある造り。裏座敷は主屋の表棟下手に接続し、簡素な床構えを付した広い座敷とする普段使用の客間と考えられる。離れは主屋二棟の背後に繋がる入母屋造り棧瓦葺きの隠居屋で、茶室を備え、座敷は長押を用い、質素な造り。湯殿は主屋上段の間に渡廊下で接続し、街道側を脚、中廊下を挟んで庭側を出格子窓付きの湯殿として湯船を置く。御成門は街道から引き込んで建つ藩主専用の腕木門。文久四年(1864)の藩主来訪に関する文書が伝わり、建物と共に記録をとることができた。保存会が公開イベントを実施する。	住宅	1
136 森家住宅庭座敷及び塀		E末期/S後期改修		住宅	1
137 森家住宅離れ		T前期		住宅	1
138 森家住宅湯殿		天保12 (1841) 頃		住宅	1
139 森家住宅御成門及び塀		文久4 (1864) 頃		住宅	1
140 旧村上家住宅主屋	愛媛県大洲市	M2頃/S57頃・R元改修	大洲城下の志保町通に面する木職業を営んだ旧家。主屋は、切妻造り平入りの二階建てで、出格子を構える。内部は通り土間で、上手奥に庭を眺める座敷と、二階にも続き間座敷を配す。主屋の北隣に建ち並ぶ付属屋と貸家は二階建ての町家で、一階は前土間形式、二階は正面側に床構え付き座敷を配して、出窓に手摺りを付す。土蔵は主屋の背後にあり、敷地裏通りに面し、漆喰仕上げで腰を高くして床を高くして脛川の水害に備える。城下の歴史的な町並みを形成する。	住宅	1
141 旧村上家住宅付属屋		E末期/R元改修		住宅	1
142 旧村上家住宅土蔵		M中期/R元改修		住宅	2
143 旧村上家住宅貸家		E後期/S前期・R元改修		産業3次	1
144 旧柴田家住宅主屋	福岡県福岡市	T前期/S22・同42頃・H15改修	福岡宮近頃の唐津街道に面して曲げ物業を営んだ商家。切妻造り平入りの二階建て町家で、前土間形式、各階裏側に座敷を配する。首崎宮周辺の歴史的景観を形成する。	住宅	1
145 寄口橋	福岡県八女市	T9/S45改修	八女市街から北東にある星野川に架かる石造道路橋。最上流側に市指定文化財で明治期単アーチ橋の洗玉橋(せんぎよくばし)があり、その下流側に二連アーチ橋の寄口橋、三連アーチ橋の大瀬橋、四連アーチ橋の宮ヶ原橋が順次架かる。石工の師弟関係が明らかで史料性高く、アーチ径間数から「ひふみよ橋」として親しまれる。	交通	1
146 大瀬橋		T6/S50改修		交通	1
147 宮ヶ原橋		T11/H30改修		交通	1

注

建設年代: Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。

種別: 土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。

基準: 1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。